令和8年度　港湾労災防止協会無災害記録表彰
298事業場（うち第5種は9事業場）受賞

港湾労災防止協会においては、全国安全週間及び港湾労働安全強調期間初日の7月1日付けをもって当協会無災害記録表彰規程に基づき、28回目（令和8年度）の無災害記録表彰を行いました。

この「港湾労災防止協会無災害記録表彰」は、会員事業場が毎年末時点で同表彰規程に定める無災害期間または無災害延労働時間を記録している場合に、同事業場からの報告により、支部長が上申し、総支部長の審査・推薦に基づき行われます。

今年度は、各総支部長から推薦された298事業場が受賞されました。一昨年度から表彰制度を見直し、最高位の第5種無災害記録表彰を受賞された事業場が無災害記録に再出発の取組みを実施して無災害記録を達成した場合、プレミアム2の付いた第1種から第3種無災害記録表彰を行うこととしましたが、このプレミアム2の第1種表彰が54事業場、第2種表彰が26事業場、第3種表彰が114事業場ありました。

また、昨年までに第4種無災害記録を樹立された事業場のうち、引き続き記録を伸ばし、最高位の第5種を受賞されたのは9事業場でした。

今回の第5種無災害記録を記録した事業場の中から、東北汽船運輸株式会社に受賞の感想などをお聞きしていますので、11頁をご覧ください。

無災害記録の樹立は、一歩一歩着実に

無災害記録表彰制度は、第1種から第2種へ、第2種から第3種へと段階的に上位表彰へと進んでいく制度であり、飛び級表彰は行われません。

安全パトロール等により職場の危険を発見し、災害防止対策を実施するなど、危険、有害要因を排除して、無災害記録の樹立を一歩一歩着実に進めましょう。

第五種副賞（受賞カップ）

多様な人材　全員参加　みんなで育てる安全職場

これは、今年度の全国安全週間及び港湾労働安全強調期間のスローガンです。全会員事業場が引き続き安全衛生活動に取り組まれ無災害記録を伸ばされることを祈念しております。

ご安全に！

表彰区分及び年度別港湾労災防止協会無災害記録表彰件数

区分／年度	1種	2種	3種	4種	5種	プレミアム2 1種	プレミアム2 2種	プレミアム2 3種	合計
17年度	54	38	42	30	34				198
18年度	42	40	32	35	34				183
19年度	55	30	35	26	34				180
20年度	54	39	26	30	14				163
21年度	56	45	28	18	32				179
22年度	64	52	37	25	17				195
23年度	43	43	48	33	18				185
24年度	44	31	39	36	30				180
25年度	38	36	30	33	31				168
26年度	38	31	28	22	30				149
27年度	40	27	24	24	19				134
28年度	38	27	20	25	17				127
29年度	32	29	21	16	20				118
30年度	22	27	22	17	17				105
元年度	21	21	16	16	21				95
2年度	32	14	19	16	12				93
3年度	23	13	11	19	11				77
4年度	21	32	13	12	12				90
5年度	21	19	22	9	11				82
6年度	29	16	15	21	6	164	−	−	251
7年度	45	25	14	12	12	29	144	−	281
8年度	23	41	18	13	9	54	26	114	298

※平成11年度～16年度は、省略しました。

令和8年度

無災害記録表彰第4種・第5種受賞事業場のご紹介

今年度における無災害記録表彰受賞の事業場のうち、第4種・第5種の無災害記録達成となられました事業場（紙面の関係から）をご紹介します。無災害記録表彰の受賞、おめでとうございます。

第4種無災害記録表彰受賞　計13事業場

事業場名	所属総支部	無災害時間
一般社団法人日本貨物検数協会　東京支部　新潟事務所	日本海	66万1千時間
株式会社ユニエツクスNCT　大井ターミナルグループ	東京	288万9千時間
エンジニアリングヒロ株式会社　東京支店	東京	25万9千時間
株式会社明正　横浜支店	神奈川	18万8千時間
株式会社ヤスダワークス	神奈川	92万4千時間
株式会社ストリームライナー	神奈川	25万2千時間
一般社団法人日本貨物検数協会　横浜支部	神奈川	189万1千時間
山九株式会社　首都圏DC支店	神奈川	148万5千時間
有限会社真中建機	神奈川	8万9千時間
株式会社ヒロニ	中国	35万8千時間
広島荷役株式会社	中国	129万9千時間
株式会社坂出郵船組	四国	85万7千時間
坂出東洋埠頭株式会社	四国	51万5千時間

第5種無災害記録表彰受賞　計9事業場

事業場名	所属総支部	無災害時間
東北汽船港運株式会社	東北	397万8千時間
富士運輸株式会社	日本海	118万0千時間
株式会社ケンコー	千葉	16万4千時間
宇徳港運株式会社	神奈川	248万7千時間
京浜船貨整備株式会社	神奈川	45万1千時間
三田港運株式会社	神奈川	53万7千時間
株式会社シンケン	東海	26万1千時間
株式会社シーゲートコーポレーション	中国	81万6千時間
日鉄物流株式会社　九州支店 戸畑物流部 八幡物流部	九州	338万7千時間

無災害記録表彰：最高位「第5種」の事業場からの報告

東北汽船港運株式会社（兼業部門で無災害時間が397万8千時間）

当社は、昭和23年1月に東北近海機船株式会社として、船舶による貨物・旅客輸送および回漕代理業を事業目的に創立されました。翌昭和24年には東北汽船港運株式会社へと社名を改称。その後、大船渡港湾運送株式会社を吸収合併したことで港湾運送業が加わり、現在の事業の礎となっております。

以来、時代の変化とともに港湾運送事業（一般港湾運送、港湾荷役、いかだ・はしけ運送）をはじめ、貨物利用運送事業、船舶代理店業、コンテナ事業、通関業、倉庫業、産業廃棄物収集運搬業、損害保険代理店業、不動産賃付業へと事業を拡大し、現在に至っております。

お客様第一主義に徹し、安全かつ迅速な業務遂行に日々邁進しております。事業を通じて港湾の発展と地域社会へ貢献すること、そして社業の発展と社員一人ひとりの幸福を実現することを目指し、日常的な業務改善に努めております。

わが社の安全衛生活動の取組みですが、毎年、安全衛生管理方針を策定し基本方針のルール違反〝ゼロ〟、災害〝ゼロ〟、熱中症災害〝ゼロ〟をもとに安全衛生活動に取り組み、日々の業務では正しい作業手順の順守、KY時危険抽出10件以上、指差呼称、1人KYの実施の安全重点事項に積極的に取組み、安全意識と安全スキルの向上に努めております。

毎月の活動は、関係者全員で安全衛生委員会を開催し、当月の安全活動報告（相互注意やヒヤリハットの把握報告）、注意事項および翌月の重点実施事項を各班へ速やかに共有・展開しております。

また、事故災害事例を事務所内に掲示して全員で周知徹底しているほか、自社の作業状況を撮影した写真を用いた独自の危険予知訓練（KYT）や、各班による安全パトロールを定期的に実施しております。

教育・訓練の面におきましては、関係会社が主催する安全パトロールや各種講習会へ積極的に参加し、従業員教育に注力しております。新入社員教育をはじめ、フルハーネス講習会、荷役設備機材の総点検、さらには東日本大震災から15年が経過し、地域の特性に応じた津波避難訓練なども定期的に行い、不測の事態への備えを万全にしています。

熱中症対策としては、WBGT計等の対策グッズや麦茶、塩飴、タブレットの支給に加え、ファン付きベスト（空

調服）の全作業員への支給貸与などを行っております。

日々の活動は、一日の始まりである朝のラジオ体操からスタートします。会社トップも参加する朝礼では、安全衛生訓話をはじめ、担当者からの当日スケジュールの指示、安全作業手帳の読み合わせ、服装点検や安全指導を行っております。さらに、日替わりの安全当番によるワンポイントＫＹの注意、全員での安全７原則の誓い、そしてゼロ災コールの唱和をもって各現場へと向かいます。現場においても体調確認や服装点検を怠らず、作業責任者を中心に全員でツールボックスミーティング、ＫＹボードを活用し、その日の作業内容、危険ポイント、注意事項、保護具の再確認を行ってから作業に臨んでいます。

事故が発生した際には、４Ｍ分析を用いて原因を徹底的に究明し、再発防止に向けた関係者による検討会を開催しております。

日頃から、指差呼称、危険予知、相互注意による声掛けを徹底し、指差呼称確認後に次の行動に移し、自分も怪我をしない、仲間にも怪我をさせないという強い意識のもと、ルール遵守で不安全行動や近道行動を「しない・させない」環境づくりに努めております。作業開始前の指差呼称を心掛け、「慌てず、急がず、ちょっと待て」という気持ちの余裕を持った行動を互いに呼び掛けを奨励しています。

当社は平成２年以来、35年間にわたり３９７万８千時間の無災害記録を継続しております。その結果、この度無災害記録「第５種」表彰という最高位の賞を受賞できましたこと、社員一同、心より感謝申し上げます。この輝かしい記録を絶やすことなく、今後も決して慢心することなく自戒を重ね、災害ゼロから危険ゼロをスローガンに、災害のない明るい職場づくりに邁進してまいります。

東北汽船港運株式会社
専務取締役　小西武志

本社社屋

朝のラジオ体操後に指差呼称

全員で指差唱和